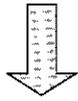


システム計画の手順

お施主様・工務店様の要望を確認

シート①の打合せメモを使いながらまとめます



- ・どの電動開閉機器を何台使用するのか
- ・セントラルコントローラーは何台設置するのか
- ・グループ操作させる4つの組み合わせはどうするのか etc...

建物・機器を把握



- ・平面図を入手して建物の大きさや間取りを把握します
- ・電動開閉機器はどこに取付けられるのか
- ・電動開閉機器にはどのアダプタを接続するのか

システム配置図

平面図に書き込みます



- ・セントラルコントローラーやアダプタの配置を示します
- ・各集中制御機器に番号をつけます

システム企画書

シート②のシステム企画書を使いながらまとめます



- ・各集中制御機器の設置場所を示します
- ・グループ操作の内容を書き込みます
- ・設定するチャンネルを書き込みます

分電盤の設計



- ・ブロッキングフィルターを設置してその二次側に集中制御専用回路をつくります

システム配線図

必要に応じて作成します



- ・集中制御システムの配線要領をわかりやすくしたものです

見積り

シート③システム工事見積書を使うと便利です

- ・集中制御システムにかかる費用を書き込みます

グループ操作の例

☞ 生活習慣に合わせて自由に4つの組合せが設定できます。

代表グループ名	グループ設定例	代表グループ名	グループ設定例
おはよう	台所・居間・寝室のアリーズⅡの開	2階全閉	2階のすべてのアリーズⅡの閉
1階全開	1階のすべてのアリーズⅡの開	おやすみ	台所・居間・寝室のアリーズⅡの開
2階全開	2階のすべてのアリーズⅡ・スカイライトの開		
外出・全閉	すべてのアリーズⅡ・スカイライトの閉		
帰宅・全開	すべてのアリーズⅡ・スカイライトの開		
1階全閉	1階のすべてのアリーズⅡの閉		

システム配置図

アリーズⅡやスカイライトなどの電動開閉機器が配置された平面図上にセントラルコントローラーやアダプタの設置場所・窓Noなどを示すものです。

集中制御システム計画のベースとなり、見積りやシステム企画書などに展開する際にも参照します。

作成要領

システム配置図作成例〔A邸〕

(1ブロックでセントラルコントローラー2台使用)

1. 電動開閉機器を記入

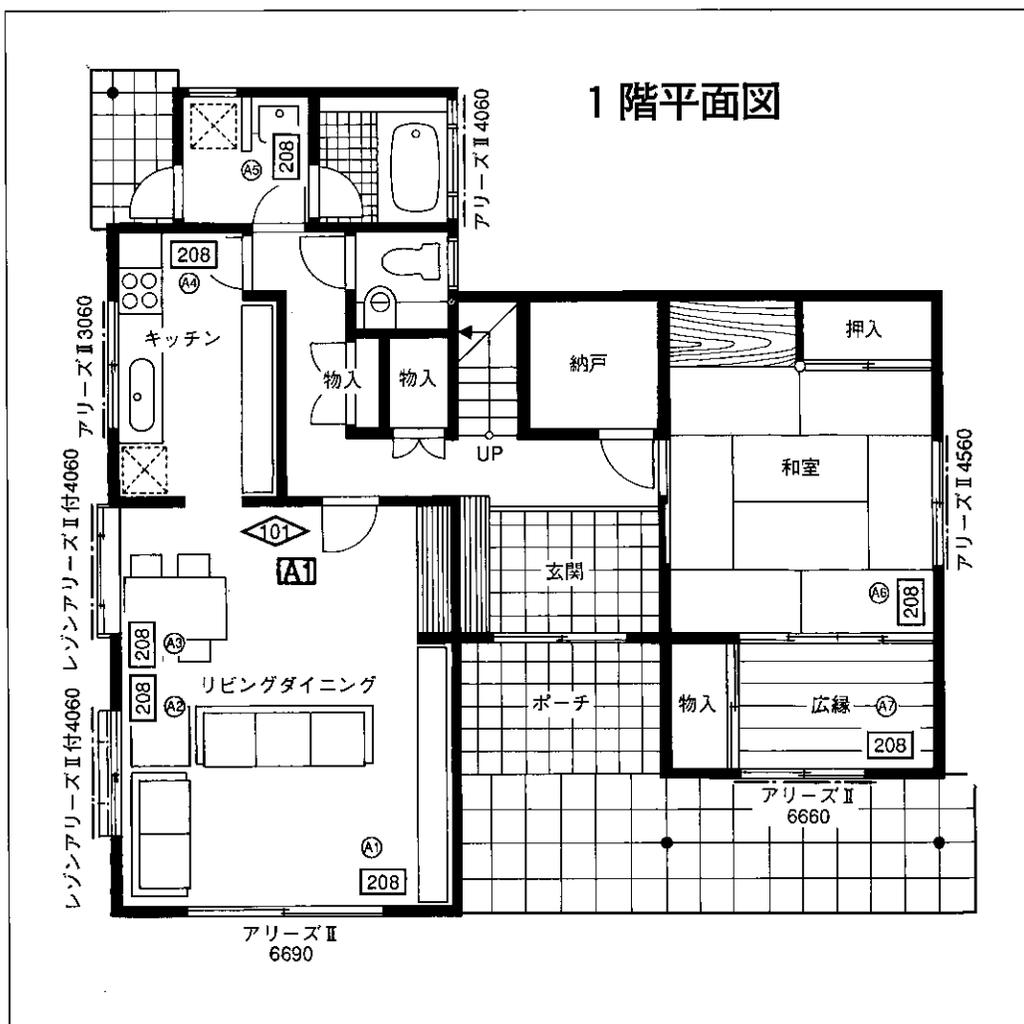
建築平面図にアリーズⅡやスカイライトなどの電動開閉機器の名称とそれぞれのサイズを書き込みます。(工務店様に記入していただくとよいでしょう。)

2. 集中制御機器を配置

右ページの図面記号を参照にして、セントラルコントローラーやアダプタなどの集中制御機器を設置する場所を書き込みます。

☞ アダプタは電動開閉機器まわりの使い勝手のよい場所に設置します。ただし、浴室にアリーズⅡを取り付けた場合は、脱衣室側にアダプタを設置します。

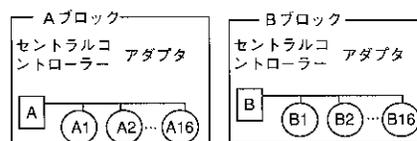
☞ 間口2間(W120)のアリーズⅡは連窓タイプとなりますのでアダプタは2個必要です。



ブロックとは

1台のセントラルコントローラーで操作可能なアダプタは最大16台です。この操作範囲をブロックといいます。たとえば、17台以上32台以下のアダプタを設置する場合は、2ブロック以上になり、各ブロック毎にセントラルコントローラーが最低1台必要です。

- ・ 1ブロック内にセントラルコントローラーは最大16台設置できます。
- ・ 1ハウス内に8ブロックまで分けることができます。
- ・ セントラルコントローラーからのグループ操作はブロックが異なっても同じハウス内であればできます。

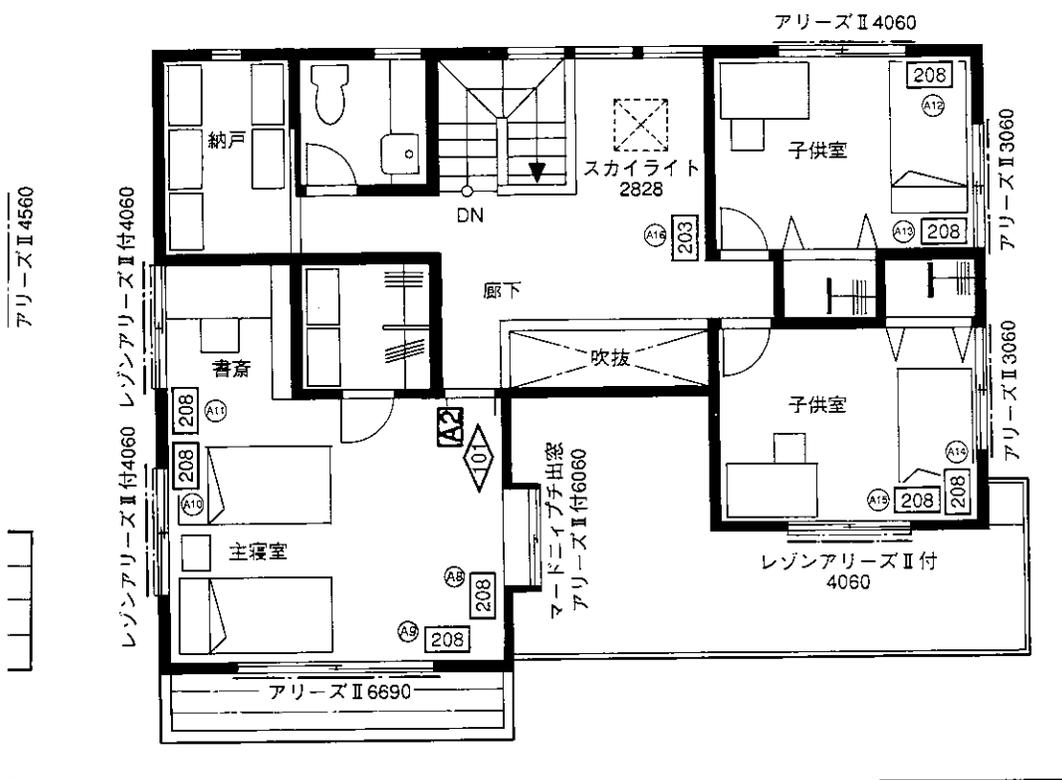


図面記号表

記号	名称	商品コード
◇101	セントラルコントローラー	EASY101

記号	商品コード	適用電動開閉機器
203	EASY203	スカイライト チルト開閉 スカイライト スライド開閉 エアリンⅡ
208	EASY208	アリーズⅡ マードニアアリーズⅡ一体 レゾンアリーズⅡ付

2階平面図



3. アダプタに番号付け

各アダプタに①から順に番号（窓No.）を付与します。（この番号がアダプタのユニットチャンネルとなります）

☞ アダプタが16台を越える場合はブロックが分かれて遠隔操作できるセントラルコントローラーが異なります。

Aブロック：①, ②, ③ ……

Bブロック：④, ⑤, ⑥ ……

のように記入します。

4. セントラルコントローラーに番号付け

セントラルコントローラーを1ブロック内に2台以上設置する場合は、各セントラルコントローラーに1から順に番号を付与します。（この番号がセントラルコントローラーのユニットチャンネルとなります）

☞ アダプタが16台を越えてブロック分けする場合は、

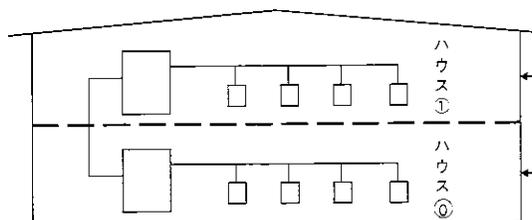
Aブロック：A または A1, A2 ……

Bブロック：B または B1, B2 ……

のように記入します。

ハウスとは

集中制御システムの最大範囲をハウスといいます。たとえば、2世帯住宅や複合住宅などでプライバシーを守りたい場合などにハウスを分けて独立させます。



3つのハウス（0・1・2）まで分けることができます。

線はつながっていても
信号は受けない

システム企画書

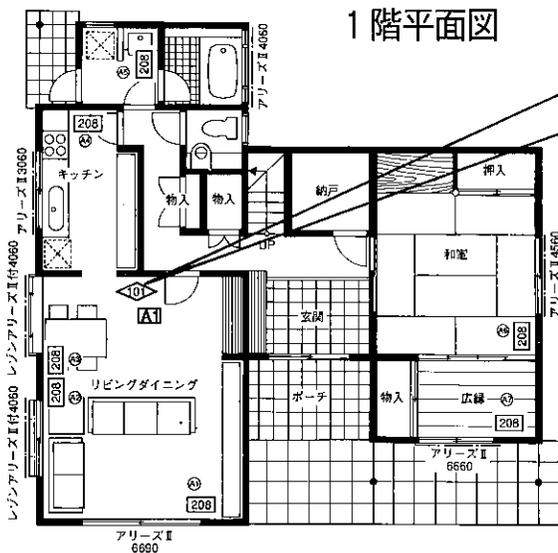
システム企画書は、集中制御システム内にあるアダプタとセントラルコントローラーの関係を示すものです。どこのセントラルコントローラーから何を遠隔操作するのか、などの内容を記入して、施工現場でのチャンネル設定資料として使用します。

☞ システム企画書は現場での設定時に使用するほか、集中制御システムの追加・メンテナンスを行なう場合にも必要となりますので、チャンネル設定および試運転後、お施主様へ渡して大切に保管してもらってください。

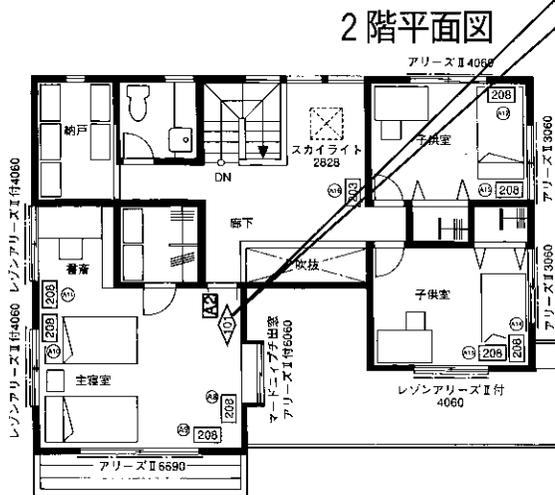
A邸の集中制御システム

1階に7台、2階に9台 計16台のアリーズII・スカイライトを1ブロック内の2台のセントラルコントローラーで制御する場合のシステム企画書を作成します。

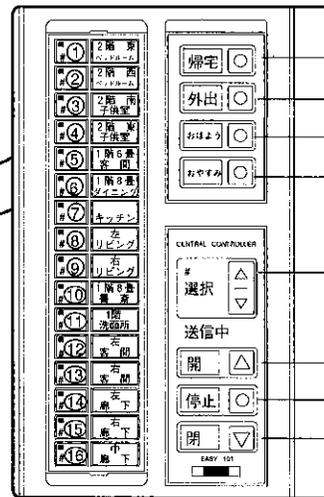
セントラルコントローラー [EASY101]



1階平面図



2階平面図



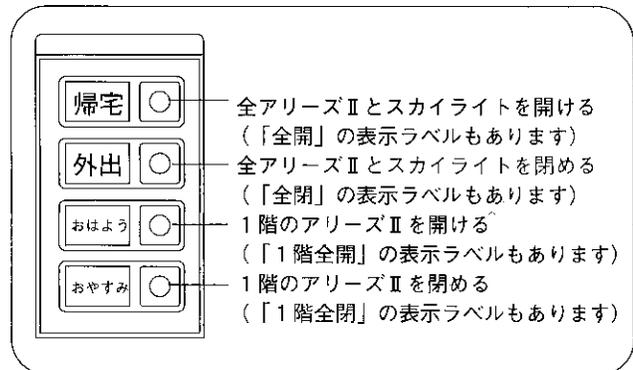
グループ操作

- ・1つのスイッチで複数のアリーズII・スカイライトを同時に開閉します。
- ・4グループの設定ができます。
- ・同じハウスチャンネルであれば、ブロックチャンネルが異なっても操作できます。

個別遠隔操作

- ・1つのセントラルコントローラーで最大16台のアリーズII・スカイライトを1台ずつ開閉します。
- ・同じハウスチャンネル・ブロックチャンネルの機器だけ操作できます。

グループ操作設定例



設定方法は59ページを参照してください。

集中制御システム企画書の作成要領

巻末の「集中制御システム企画書」(シート②)を使用して、集中制御システム配置図と「集中制御システム打合せメモ」(シート①)をもとに、下記の要領で作成します。

システムチャンネル
他社の集中制御システムが併設される場合は「1」または「2」に、併設がなければ「0」に○印をつけます。

アダプタの機種
各窓No.に対応するアダプタの機種を記入します。

アダプタの設置場所
アダプタの設置場所を記入します。

グループ操作設定内容
セントラルコントローラーのグループ操作スイッチに対応する開閉パターンを記入します。

各窓No.の電動開閉機器の機種名およびサイズ
を記入します。

各機器の消費電流を下表を参照にして記入
入します。

ハウスチャンネル
2世帯住宅などでハウス分けする場合に、各ハウスの番号に○印をつけます。

このシートは1ハウス1ブロック単位で1つの表を使用
します。複数ハウスまたは複数ブロックの場合は、下表もしくはもう1枚のシートを使用します。

ブロックチャンネル
ブロック分けをする場合に、各ブロックの記号(A~H)を記入します。

セントラルコントローラーのユニットチャンネル
1つのブロック内に複数のセントラルコントローラーを設置する場合、1から順に番号を記入します。

セントラルコントローラーの設置場所
を記入します。

集中制御システム企画書 セントラルコントローラー用 No. _____

シート②

お施主様	おなまえ		様		設計		年 月 日	
	おとこ	ところ	TEL	()	納期	年 月 日	年 月 日	年 月 日
システムチャンネル①・1・2 ハウスチャンネル①・1・2	窓No. (ユニットチャンネル)	アダプタ機種	設置場所	グループ操作	電動開閉機器	消費電流	接続コード	
				1 2 3 4	機種名 サイズ(H x W)	(A)	(m)	
<input type="checkbox"/> ブロック <input type="checkbox"/> セントラルコントローラー設置場所 <input type="checkbox"/> ダイニング <input type="checkbox"/> 寝室 <input type="checkbox"/> セントラルコントローラーユニットチャンネル(1~16)	1	208	1 実分南	○ × ○ ×	パナII	6890	1.8	標準
	2	208	1 実分西	○ × ○ ×	パナII	4060	1.5	*
	3	208	1 実分北	○ × ○ ×	パナII	4060	1.5	*
	4	208	1 実分	○ × ○ ×	パナII	3060	1.5	*
	5	208	1 浴室	○ × ○ ×	パナII	4060	1.5	10 M
	6	208	1 和室	○ × ○ ×	パナII	4560	1.5	標準
	7	208	1 広縁	○ × ○ ×	パナII	6690	1.5	*
	8	208	2 寝室	○ × ○ ×	パナII	6060	1.5	*
	9	208	2 寝室	○ × ○ ×	パナII	6690	1.8	*
	10	208	2 寝室	○ × ○ ×	パナII	4060	1.5	*
	11	208	2 寝室	○ × ○ ×	パナII	4060	1.5	*
	12	208	2 女子居室	○ × ○ ×	パナII	4060	1.5	*
	13	208	2 女子居室	○ × ○ ×	パナII	3060	1.5	*
	14	208	2 女子居室	○ × ○ ×	パナII	3060	1.5	*
	15	208	2 女子居室	○ × ○ ×	パナII	4060	1.5	*
	16	203	2 天窓	○ × ○ ×	パナII	2828	0.4	10 M
					合計		23.5A	

5m 標準付属

グループ操作記号
開設定 ○
閉設定 ×
無設定 .

*ブロック分け、ハウス分けをする場合に下表を使用します

システムチャンネル①・1・2 ハウスチャンネル①・1・2	窓No. (ユニットチャンネル)	アダプタ機種	設置場所	グループ操作	電動開閉機器	消費電流	接続コード
				1 2 3 4	機種名 サイズ(H x W)	(A)	(m)
<input type="checkbox"/> ブロック	1						
<input type="checkbox"/> Lブロックチャンネル(A~H)	2						

接続コードの必要長さ
各電動開閉機器には、5mの接続コード(アダプタと開閉機器間の信号線)が付属されています。アダプタの取付け位置を確認して接続ケーブルの長さを決めます。別途10m・20mを用意していますので、必要に応じてあらかじめ手配してください。

電力消費量について

集中制御システムは、グループ操作等で複数の機器を同時に動かす場合に電力の消費量が大きくなります。この電力消費量が契約電力の容量や分岐ブレーカの容量をオーバーするということがないように、消費電流を事前に計算して電気工事をすすめてください。

・スカイライト・エアリンII

スカイライト スライド開閉	スカイライト チルト開閉		エアリンII
	W18	W28・W38	
0.4A	0.3A	0.4A	0.06A

消費電流早見表

・アリーズII (マードニアアリーズII一体 レゾンアリーズII付含む)

間口(R)	30	45	60	598	63	90	91	95	120	126
高(R)	785	1240	1692	1800	1891	2604	2740	2845	3514	3800
30	907									
35	1058									
40	1210									
45	1361									
50	1513									1.5A
58	1727									×2
59	1757									
60	1788									
61	1818									
66	2000									
73	2183						1.8A			

システム配線図

集中制御システムの配線要領を簡単に表したもので、施工やシステムの確認に使用すると便利です。必要に応じて作成します。

